

# 環 境 白 書

【平成26年度報告】

沖 縄 県

## 環境白書の発行に当たって

沖縄県は、亜熱帯海洋性気候の下、美しいサンゴ礁が発達した青い海と多様な野生生物が生息・生育する緑豊かな160の島々から構成されており、他の都道府県とは異なる固有の自然環境を有しています。

この恵み豊かな環境を保全し、次世代へ引き継ぐことは、今を生きる私たちに課せられた責務であります。

しかしながら、本県では、依然として外来生物による生態系のかく乱や赤土等の流出による海域等への影響、米軍基地から派生する航空機騒音、地球温暖化防止などといった多くの課題を抱えているのが現状です。

このような中、県では、「循環型の社会づくり」「人と自然の共生」「環境保全活動への積極的な参加」「地球環境の保全」「環境と経済が調和する社会づくり」の5つの基本目標を掲げた第2次沖縄県環境基本計画（平成25年3月策定）に基づき各種施策を展開しております。

過去の開発行為等で失われた自然環境を再生するためのモデル事業や、生物多様性の保全に向けた外来種対策、奄美・琉球の世界自然遺産登録に向け、国や関係自治体等と連携した取り組みなどを行っております。

持続可能な社会の実現に向け、県民一人ひとりが、多種多様な環境問題に関心を持ち、理解を深め、問題解決に向けた行動を起こしていくためには、様々な主体による環境保全活動や環境教育の推進が必要不可欠であり、沖縄県の環境の現状を把握することは極めて重要です。

この白書が皆様の環境への関心と理解を深め、環境保全活動の取組の役に立つことができれば幸いです。

平成28年2月

沖縄県知事 翁長雄志